

平成24年度版

生ごみ処理容器等設置費補助金制度 利用状況等アンケート結果報告書

大和市環境管理センター
収集業務課 資源循環担当

目次

I. アンケート実施概要	1
II. アンケート結果概要	
1. 補助制度について	
(1) 補助制度の周知等について	2
(2) 補助率・補助金額について	2
(3) 補助制度の手続きについて	3
(4) 補助制度の有効性について	3
2. 機器について	
(1) 機器の購入について	3
(2) 機器の利用について	3
3. 個別の質問について	
(1) 機器から出る二オイ・音について	4
(2) 堆肥の拠点回収について	4
III. アンケート結果分析	
1. 機器の利用と減容率の関係	5
2. 機器の二オイや音と再購入について	7
3. ごみの減量化・資源化への関心と補助制度について	8
IV. 各設問ごと結果	9
V. 自由記入欄一覧	
1. 電動生ごみ処理機利用者	20
2. 生ごみ処理容器（コンポスト）利用者	22
3. ガーデンシュレッダー利用者	23
資料 アンケート様式	
1. 電動生ごみ処理機利用者	25
2. 生ごみ処理容器（コンポスト）利用者	27
3. ガーデンシュレッダー利用者	29

記事

系統抽出法（等間隔抽出法）とは	1
JEMA（日本電機工業会）の調査について	2
本アンケートの信頼性について ～統計学上の信頼性～	4

I. アンケート実施概要

本アンケートは、生ごみ処理容器等設置費補助金制度利用者に対し、機器の利用状況、処理物の活用方法及び制度に対する満足度等を調査し、今後の資源化施策及び補助金制度の検討資料とするものです。

■調査期間 平成25年1月25日～2月12日

■調査対象者 平成19年度から平成23年8月までの補助制度利用者200人。
(過去回答者及び平成23年9月以降の補助対象者を除く)
補助品目ごとに対象者数を決定したあと、系統抽出法(等間隔抽出法)を用いて対象者を抽出しました。
補助品目ごとの調査対象者数は以下の通りです。

補助品目	調査抽出対象者数	調査対象者数
コンポスト	27人	25人
電動生ごみ処理機	738人	160人
ガーデンシュレッダー	16人	15人
合計	781人	200人

■調査方法 郵送調査、無記名方式

■調査内容

- ・使用機種について(処理方式、購入動機、購入先)
- ・使用状況について(利用頻度、生ごみ処理量、減量効果)
- ・生成物について(生成物の活用方法、拠点回収場所の利用)
- ・制度について(周知方法、補助率・限度額等への満足度や意見)

■回答者数

生ごみ処理容器(コンポスト)	: 20人
電動式生ごみ処理機	: 110人
ガーデンシュレッダー	: 12人
計	: 142人

■回答率 71%

系統抽出法(等間隔抽出法)とは

統計を取る場合、全ての対象者に対して調査を行うのは大変なので、通常は対象者(「標本」と言います)を絞って行います。このとき、対象者の選び方に偏りがあると調査結果が正しく全体(「母集団」と言います)を表さないため、無作為に対象者を抽出する必要があります。

系統抽出法は無作為に対象者を抽出する方法の一つで、以下のような手順で行います。

- ①対象者をリストに並べる
- ②最初に抽出する1件をランダムに決める(乱数などで決定)
- ③それ以降は等間隔(3番ごと、10番ごと、など)に対象者を抽出する

全ての抽出をランダムに行えばいいのですが、母集団や抽出数が多い場合は抽出用の乱数を用意するだけでも大変なので、乱数を1つだけ決定すればよい系統抽出法がよく用いられます。

Ⅱ. アンケート結果概要

ここでは調査結果の概要について報告します。各設問の詳細な結果については、「4. 各設問ごと結果」及び「5. 自由意見欄一覧」をご参照ください。

1. 補助制度について

(1) 補助制度の周知等について

補助制度の周知方法として最も有効なのは「広報やまと」だということがわかりました。また、「販売店等の宣伝」で補助制度を知った方も多くいました。

市が行っている補助制度の周知については、54%の方が現行の方法を肯定しています。しかし、「足りない」「大いに足りない」と感じた方も46%いるため、引き続きさまざまな方法で周知を図っていきます。

(2) 補助率・補助金額について

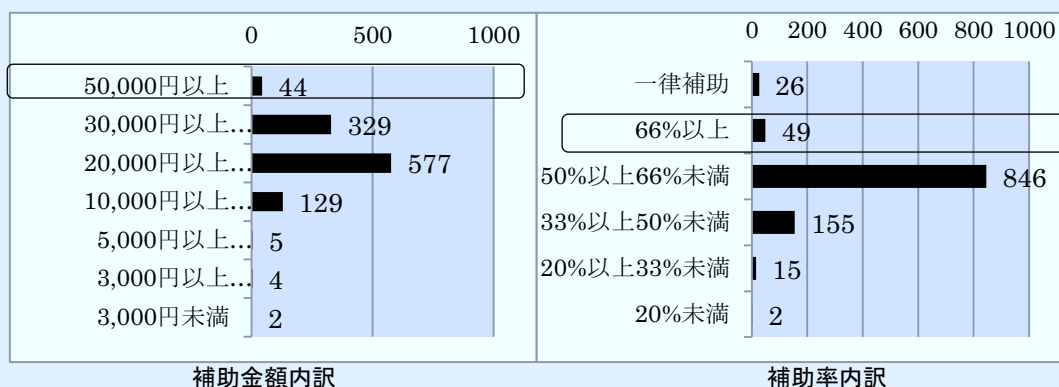
本市の電動生ごみ処理機の補助金額は県内1位、補助率は綾瀬市の90%に次いで県内2位となっています。また、補助率75%、補助金額50,000円という補助は全国的に見てもトップレベルとなっています（電動生ごみ処理機のための調査。平成24年度JEMA調べ）。

本アンケートにおいても、補助率・補助金額ともに、「不満」と回答した方が補助率で6%、補助金額で4%となっており、おおむね満足いただいていることがわかりました。

また、「現在の補助金額（率）なら購入すると思うが、補助金額（率）が下がったら購入しないと思う」と回答した方が42%いることから、高額な生ごみ処理容器等の購入にあたっては、本市の高い補助率・補助金額が不可欠であり、ごみの減量化、資源化を推進するために生ごみ処理容器等の購入を推進していくのであれば、現在の補助率・補助金額の維持・発展が必要であるということがわかりました。

JEMA（日本電機工業会）の調査について

JEMAでは、「家庭用電気生ごみ処理機」の助成実態について、全国の自治体に電話アンケートを行っています。直近では平成24年4月に調査をしています。



上表の通り、補助率75%、補助金額50,000円という補助は、全国的にトップレベルであるということがわかります（表中の囲み部分が本市該当部分）。

(3) 補助制度の手続きについて

申請方法が「わかりにくかった」と感じた方が6%、申請から補助金交付までの期間が「長かった」「少し長かった」と感じた方が10%います。公金による補助制度のため、一定の手続きと期間は必要ですが、処理期間の一層の短縮に心がけます。

(4) 補助制度の有効性について

生ごみ処理容器等がごみの減量化、資源化に「有効である」「多少有効である」と回答した方が91%おり、また、そのうち98%の方が、ごみの減量化、資源化の普及に本補助制度が「役立つ」「多少役立つ」と回答しています。

また、購入のきっかけとして「補助制度があるため」を挙げた方は「ごみを減量化したい」を挙げた方に次いで多く、補助制度が無ければ「購入していないと思う」方も48%いました。

このことから、本補助制度が、ごみの減量化、資源化に有効であることがわかりました。

また、補助制度を知ってごみの減量化、資源化への関心が「非常に高まった」「高まった」との回答が77%あることから、補助制度がごみの減量化、資源化への啓発にも有効であることがわかりました。

2. 機器について

(1) 機器の購入について

機器の購入先は「市内家電販売店」が40人と最も多く、次いで今回の調査では「インターネット」「市内ホームセンター」で購入された方が多いことがわかりました。選択肢以外の回答では、「イベントの店舗」「JA」等がありました。

製品の選定理由については、「性能」が最も多く、次いで「金額」「使いやすさ」となっていました。また、前回調査におけるコンポストとガーデンシュレッダーでは選定理由に「金額」を挙げた方が最も多くなっていたようですが、今回の調査では、性能（容量）を挙げた方が最も多くなっていることがわかりました。

(2) 機器の利用について

機器の利用状況について調査したところ、15%の方が現在は利用していないと回答しました。

この傾向は、電動生ごみ処理機に多く、使ってみると思ったより減容化できない、使い勝手が悪いなどの理由や壊れて使えないなどの意見がありました。

実際に使用されている方に絞って利用状況を見ると、コンポスト・電動生ごみ処理機では「毎日」「週に1、2回」と回答した方が94%を占めました。頻繁に少しずつ処理をしている方が多いようです。一方、ガーデンシュレッダーは、「年に数回」「月に1、2回」との回答が多かったです。

1回の処理量は、「200g～400g未満/50本～100本未満」が最も多く、次いで「100g～200g未満/10本～50本未満」という結果で、全体の77%でした。

減容量については、「約1/4」が33%で最も多く、「約1/3」が28%、「約1/2」が24%でした。「その他」でもほとんどの方が減容化できていると回答しており、機器の使用による減容化はかなり進んでいることがわかりました。

できあがった生成物は、「家庭菜園等での肥料」として自己処理されている方が47人と最も多く、次いで「ごみとして排出」「花壇、プランター等での肥料」と続きました。また、特にコンポストにおいては「ごみとして排出」している方がほとんどいないなど、生成物の活用が非常に進んでいることがわかりました。

3. 個別の質問について

(1) 機器から出るニオイ・音について

コンポストと電動生ごみ処理機を対象にニオイについて、電動生ごみ処理機を対象に音について質問しました。

ニオイが気になる方は32%、音が気になる方は24%いました。機器の性能向上が求められます。

(2) 堆肥の拠点回収について

電動生ごみ処理機を対象に、堆肥を拠点回収で無料回収していることを知っているか質問しました。

結果、77%の方が「知らない」ことがわかりました。

電動生ごみ処理機利用者の33%は生成物をごみとして排出していることから、資源化を推進するため、拠点回収について周知を徹底して参ります。

本アンケートの信頼性について ～統計学上の信頼性～

前述した系統抽出法などを用いて標本を無差別抽出したとしても、その標本が正確に母集団の縮図になっているということはなく、必ず誤差が生じてしまいます。このとき、多くの標本があれば誤差は小さくなり、標本数が少なければ誤差が大きくなる、ということは直観的にわかると思いますが、では、どれくらいの標本数があれば、調査結果が信頼できる程度にまで誤差を抑えることができるのでしょうか。

統計学では、「母集団がXの場合、調査結果の誤差をY%以内にするために必要な標本数」を計算することができます。計算式は省きますが、母集団の数ごとの、誤差5%及び2.5%以内にするために必要な標本の大きさをまとめると下表のようになります。

母数	50	100	1000	10000	無限大
誤差5%	45	80	278	370	384
誤差2.5%	49	94	607	1332	1537

母数と誤差の関係から算出される必要な標本の大きさ

母数が小さい場合には、誤差を小さくするためにはほとんどの人から統計を取らなければいけません（例えば母数50の場合、90%の45人から統計を取る必要があります）が、逆に母数が大きくなっても必要な標本数はさほど大きくなりません。また、母数が大きい場合、誤差5%であれば約400標本あればいいのに対し、誤差2.5%まで極めようとする必要と必要な標本数は約4倍必要になります。

一般的な統計調査においては、誤差5%以内とするのが標準的なようです。そのため、標本数が400程度あれば誤差を5%以内に収めることができ、信頼できる統計結果だと言えます。

本アンケートの回答数は142件でしたので、誤差5%の場合の半分以下の標本数であり、統計学的には「やや誤差が出る可能性のある結果」だと言えます。また、誤差5%（標本数400）を達成するためには、今回のアンケート回答率71%を想定すると、563人にアンケート依頼をする必要があります。本アンケートでは200人に依頼を行いましたので、2.8倍の人数に対してアンケートを依頼しないと、統計学に見た正確性は得られない、ということになります。

Ⅲ. アンケート結果分析

アンケート結果の概要は先述した通りですが、ここでは、複数の設問の関係性から見た分析結果について報告します。

なお、煩雑さを避けるため、無回答や「その他」の回答などは除いています。

1. 機器の利用と減容率の関係

機器の利用頻度と減容率の関係についてまとめました。回答は下表の通りです。

		減容量				
		約1/2	約1/3	約1/4	それ以上	計
利用頻度	毎日	14.1%	12.1%	12.1%	5.6%	43.9%
	週1、2回	6.5%	10.3%	14.0%	2.8%	33.6%
	月1、2回	0.0%	1.9%	2.8%	0.0%	4.7%
	年に数回	0.9%	4.8%	0.9%	0.9%	7.5%
	使っていない	1.9%	1.9%	0.9%	0.9%	5.6%
	壊れて使えない	1.9%	0.9%	1.9%	0.0%	4.7%
	計	25.3%	31.9%	32.6%	10.2%	100.0%

機器の利用頻度と減容率の関係について

機器の利用は「毎日」「週に1、2回」が多いです。このことから、利用頻度を上げることが減容化に効果があることがわかりました。

また、1回の処理量と減容率の関係についてもまとめてみました。回答は下表の通りです。

		減容量				
		約1/2	約1/3	約1/4	それ以上	計
処理量	100g未満	27.3%	27.3%	27.3%	18.1%	100.0%
	100g~200g未満	32.4%	27.0%	35.2%	5.4%	100.0%
	200g~400g未満	20.0%	30.0%	37.5%	12.5%	100.0%
	400g以上	10.0%	30.0%	50.0%	10.0%	100.0%

1回の処理量と減容率の関係について

この表を見ると、どの処理量の方も約1/4が最も多い回答でした。

このことから、処理量にかかわらず減容量が高いことがわかりました。

まとめると、機器の利用にあたっては「毎日、少しずつ処理をすること」が、減容化に最も効果が高いことがわかりました。

なお、利用頻度において前回の調査では、特に電動生ゴミ処理機購入後、現在使っていない、壊れて使えないと回答した方が30%程いました。そこで、今回のアンケート調査では、電動生ゴミ処理機について、いつ購入されたかをアンケートの項目に入れ、購入時期、利用頻度、選んだ理由の関係について、分析しました。

下表は、年度別に購入時期から現在使っていない、壊れて使えない状況を調べてみました。

調査の結果、購入者全体の16%の方が該当しました。この数字には、購入時期が不明な2名の方を除いてあります。さらに、その他の意見（15ページ参照）にも機器の調子が悪く利用を中止した方や東日本大震災を機に使用を控えている方もおり、実際利用していない方は、20%を超えていると推測されます。

これを年度別に見ると、平成20年に購入された方が多く、次に平成19年と続き、必ずしも購入経過の長い機器が使っていない、壊れて使えない状況でないことがわかりました。

また、該当者が機器を選んだ理由は、金額（維持費含）が多く、次に性能（容量）と続きました。

		利用頻度		
		使っていない	壊れて使えない	計
購入時期	平成19年	3	2	5
	平成20年	5	4	9
	平成21年	1	0	1
	平成22年	2	1	3
	平成23年	0	0	0
	計	11	7	18

電動生ゴミ処理機の購入時期と現在使っていない、壊れて使えないとの関係について（単位：人）

次に、平成19年及び平成20年に購入された方に絞って、購入時期と利用頻度との関係を調べてみました。利用頻度として現在、毎日利用している、週1～2回利用している方は、全体の34%でした。該当者が機器を選んだ理由は、性能（容量）が多く、次に金額（性能維持）が続き、性能（容量）を重視する傾向がわかりました。

		利用頻度		
		毎日利用している	週1、2回	計
購入時期	平成19年	10	11	21
	平成20年	6	10	16
	計	16	21	37

電動生ゴミ処理機の購入時期と現在毎日利用している、週1、2回利用しているとの関係について（単位：人）

2. 機器のニオイや音と再購入について

電動生ごみ処理機やコンポストは思ったよりニオイや音がするので期待外れだった、というご意見をいただくことがあります。そこで、現在機器を使用している方の状況を調べてみました。

下表は、機器のニオイや音と、再購入についての関係をまとめたものです。

ここでは、回答の「ほとんど（まったく）しない」「多少するが気にならない」「かなりするが気にならない」「多少して気になる」「かなりして気になる」の順に深刻度が高くなっていくと考え、ニオイと音のどちらか深刻度が高い方の数値を採用しています。例えば「多少ニオイがするが気にならない」と「多少音がして気になる」という回答をした場合は「多少して気になる」としてカウントしています。

		購入後5年経過後もう一度電動生ごみ処理機を購入するか				
		補助がなくても購入する	補助があれば購入する	補助がなければ購入しない	購入しない	計
ニオイ・音はするか	しない	1	3	0	1	5
	多少するが気にならない	4	10	24	6	44
	かなりするが気にならない	0	1	4	0	5
	多少して気になる	0	6	11	5	22
	かなりして気になる	0	0	9	3	12
	計	5	20	48	15	88

機器のニオイ・音と再購入の関係について（単位：人）

「補助制度のあるなしにかかわらず購入しないと思う」と回答した方15人のうち、「多少して気になる」「かなりして気になる」と回答した方は8人（53%）いました。過半数の方が、購入をしないと考えた理由にニオイや音がすることを挙げた、ということになります。

このニオイや音の問題が、電動生ごみ処理機やコンポストすべての機種で起こることなのか、特定の固有の機種の問題なのか、それとも機種の問題ではなく使用者の環境や使用方法の問題なのかは、もっと詳細な調査を行わないと断定はできません。

しかし、電動生ごみ処理機やコンポストについて、どんな機種でも、どんな使い方をしても生ごみを減容化してくれるというわけではない、ということは確かなようです。

これらのことから、補助制度や機器の利用の推進をする際には、適切な運用をしないと効果的なごみの減容化はできないこと、前項の結果等もふまえた適切な機器の使用方法などについても積極的に広報していくことが必要であることがわかりました。

3. ごみの減量化・資源化への関心と補助制度について

最後に、「補助制度がない場合の購入」と「ごみの減量化・資源化への関心」の関係についてまとめました。

下表は、両者の関係をまとめたものです。

		補助制度がなくても購入していたか			
		購入していた	購入していない	わからない	計
関心	非常に高まった	8	8	4	20
	高まった	21	43	24	88
	変わらない	9	16	6	31
	低くなった	1	0	0	1
	かなり低くなった	0	0	0	0
	計	39	67	34	140

「補助制度がない場合の購入」と「ごみの減量化・資源化への関心」の関係について（単位：人）

1人を除く全ての方が、「補助制度を知って、ごみの減量化・資源化への関心」が「非常に高まった」「高まった」「変わらない」と回答しています。また、補助制度がなければ機器を購入していないと回答した方のうち、実に43人もの方が、「ごみの減量化・資源化への関心が高まった」と回答しています。

調査によると、補助制度があったから機器を買い、実際に使用した結果、ごみの減量化・資源化への関心が高まったという方が一番多かったという結果が出ました。これにより、本補助制度は、ごみの減量化・資源化の啓発に寄与していることがわかりました。

IV. 各設問ごと結果

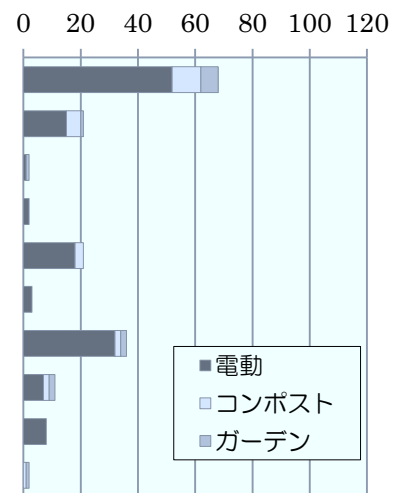
ここでは、実施したアンケートの設問ごとの結果についてまとめました。

「その他」等を選択していただいた場合の自由記入回答は欄外にまとめてあります。なお、その際、同様の回答についてはまとめさせていただきました（例：農協とJA）。

また、電動生ごみ処理機、生ごみ処理容器（コンポスト）、ガーデンシュレッダーをまとめて「各機器」と称しています。

1. 補助制度を、どのような方法で知りましたか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
広報やまと	52	10	6	68
市ホームページ	15	5	1	21
自治会回覧	1	0	1	2
公共施設設置チラシ	2	0	0	2
口コミ	18	3	0	21
ごみ関係の説明会	3	0	0	3
販売店等の宣伝	32	2	2	36
資源とごみのパンフレット（市配布）	7	2	2	11
その他	8	0	0	8
無回答	0	1	1	2
計	138	23	13	174

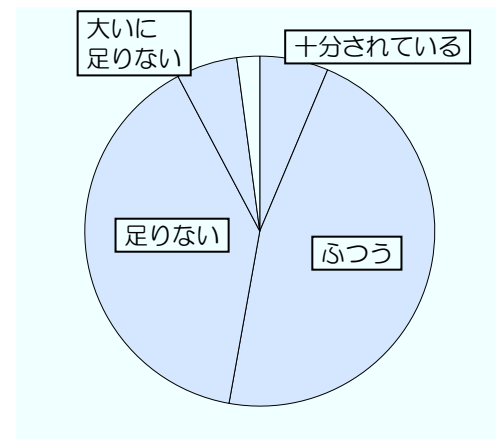


▼その他

- 友人に勧められて
- 販売者に教えてもらった
- 市外居住の兄弟より
- 産業まつり
- 農協
- 郵便局のパンフレット
- 市民まつり

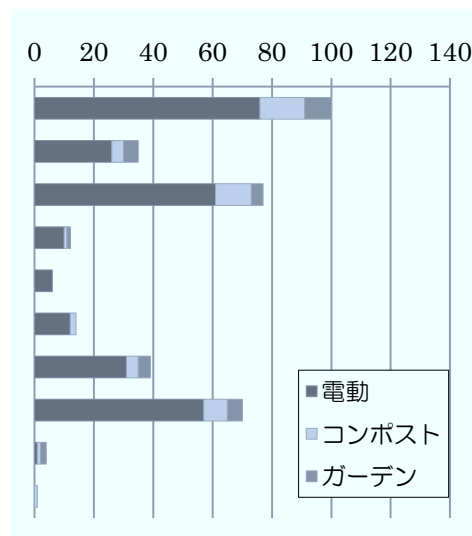
2. 補助制度のPR（周知）は十分なされていると思いますか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
十分されている	6	0	3	9
ふつう	53	10	3	66
足りない	43	7	6	56
大いに足りない	7	1	0	8
無回答	1	2	0	3
計	110	20	12	142



3. 補助制度のPR（周知）について、有効だと思う方法を選んでください

	電動	コンポスト	ガーデン	計
広報やまと	76	15	9	100
市ホームページ	26	4	5	35
自治会回覧	61	12	4	77
公共施設設置チラシ	10	1	1	12
やまとPSメール	6	0	0	6
イベント等でのチラシ配布	12	2	0	14
販売店へのチラシ設置	31	4	4	39
資源とごみのパンフレット（市配布）	57	8	5	70
その他	1	1	2	4
無回答	0	1	0	1
計	280	48	30	358

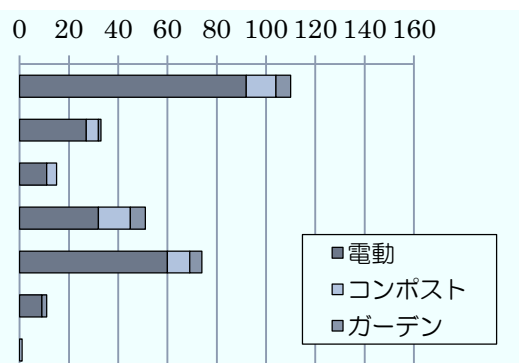


▼その他

- ・幼稚園や学校での手紙配布 ・機会があるごとに積極的にあらゆるチャンスをとらえて
- ・最近ではホームページ、やまとPSメールと言った方法が多くなっているが、PCを出来ない人もいるので、PRは両刀使いが良いのでは
- ・駅に貼る。販売店の一般の品物のチラシの中に掲載。人の集る、あるいは立ち止まる場所に掲示する

4. 各機器を購入しようと思ったきっかけは、どのような理由からですか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
ごみを減量化したい	92	12	6	110
環境問題に関心がある	27	5	1	33
カラス・猫対策のため	11	4		15
成果物を利用したい	32	13	6	51
補助金制度があるため	60	9	5	74
その他	9	0	2	11
無回答	0	1	0	1
計	231	44	20	295

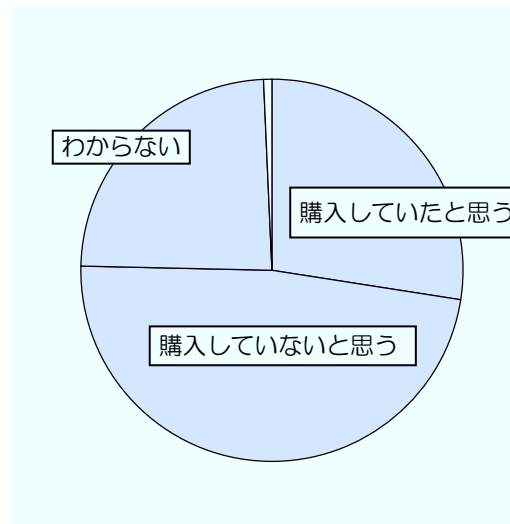


▼その他

- ・留守でゴミを出せない時につとめて利用 ・生ゴミの臭い（特に夏場）が気になるので
- ・オール電化にしたので夜間電力で（乾燥式は電気代が高い為）・市民まつりに展示。PR
- ・におい対策 ・ごみ収集車のアナンス ・剪定枝の処分の簡略化
- ・大きな枝を、細分化（チップ化）してくれるので、家族の剪定作業が大変助かる。労力と時間が、1日かかりが2時間に短縮できてありがたい

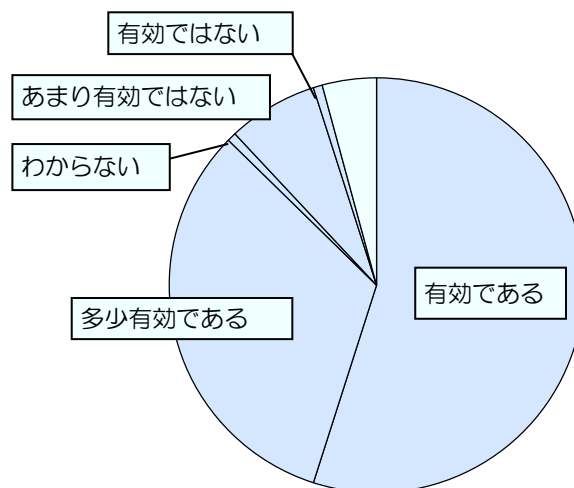
5. 補助制度が無くても各機器を購入していたと思いますか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
購入していたと思う	19	12	8	39
購入していないと思う	60	6	2	68
わからない	31	1	2	34
無回答	0	1	0	1
計	110	20	12	142



6. 各機器はごみの減量化、資源化に対して有効だと思いますか

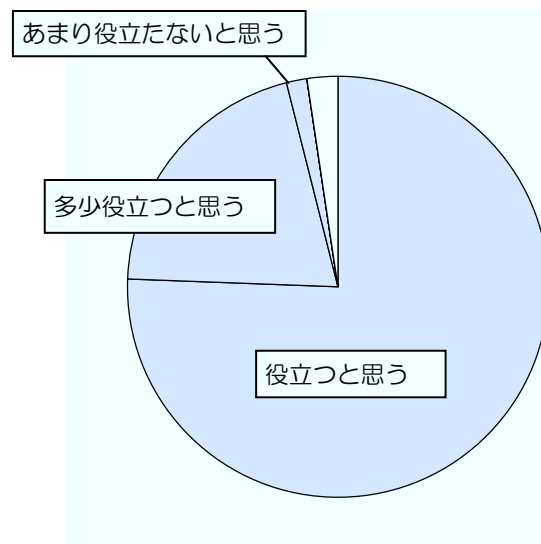
	電動	コンポスト	ガーデン	計
有効である	58	14	6	78
多少有効である	37	4	5	46
わからない	0	1	0	1
あまり有効ではない	9	0	1	10
有効ではない	1	0	0	1
無回答	5	1	0	6
計	110	20	12	142



(6. で「有効である」「多少有効である」と回答した方への質問)

6-1. ごみの減量化、資源化の普及・啓発に、補助制度は役立つと思いますか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
役立つと思う	75	15	6	96
多少役立つと思う	18	3	5	26
あまり役立たないと思う	2	0	0	2
役立たないと思う	0	0	0	0
わからない	0	0	0	0
無回答	2	1	0	3
計	97	19	11	127



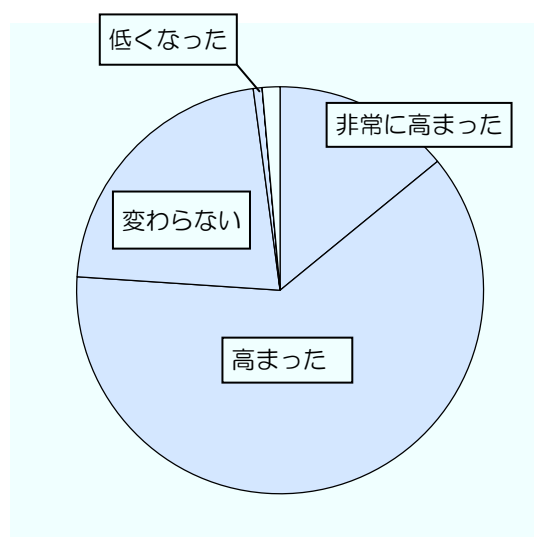
（6. で「有効ではない」「あまり有効ではない」と回答した方への質問）

6-2. 有効でないと思う理由を教えてください

- ・ 少人数のためあまり良さがわからない
- ・ 生ゴミだけを少々減らしても効果はうすいと思う
- ・ 機械68,000円は高い 商品として15,000円位
- ・ あまり入れられない、多めに入れると悪臭がする
- ・ 電気のコンセントに常時つなぐので、水気が在ると電気にかんする能力不足で現在は使っていない
- ・ 処理出来ない物も多々ある
- ・ 処理機がすぐに故障した事や家庭ゴミレベルでも処理しきれしていない
- ・ 魚などの生ものに近いものは使用できない。野菜くずのみ使用している
- ・ 一般家庭で処理機の容量が少なすぎ処理しきれない
- ・ チップが思ったように堆肥にならないので一定量を敷きつめた後は、結局可燃ごみになる。体積は減ります。（ガーデン）

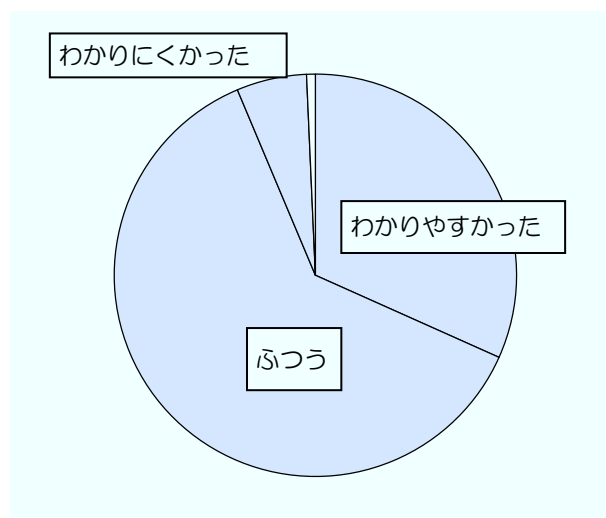
7. 補助制度を知って、ごみの減量化、資源化の関心は高まりましたか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
非常に高まった	15	2	3	20
高まった	66	15	7	88
変わらない	27	2	2	31
低くなった	1	0	0	1
かなり低くなった	0	0	0	0
無回答	1	1	0	2
計	110	20	12	142



8. 補助制度の申請方法や必要書類についてどう思いましたか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
わかりやすかった	33	6	6	45
ふつう	71	11	6	88
わかりにくかった	6	2	0	8
無回答	0	1	0	1
計	110	20	12	142

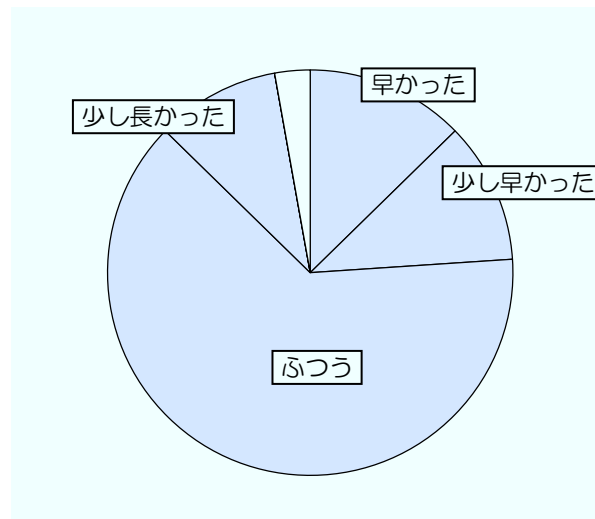


▼わかりにくかった理由

- ・ 数年前なので、詳細は覚えていないが、市役所に2～3回訪ねて説明を受けた
- ・ 簡単に申請ができるようにしてほしい
- ・ 申請書の記入のしかたがわかりにくかった

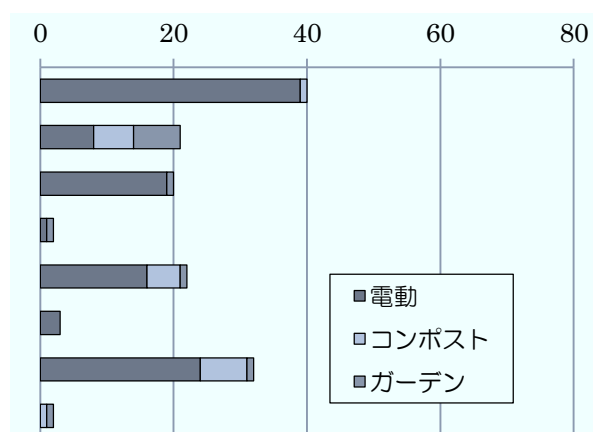
9. 申請から補助金交付までの期間についてどう思いましたか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
早かった	11	5	2	18
少し早かった	10	1	5	16
ふつう	76	9	5	90
少し長かった	10	4	0	14
長かった	0	0	0	0
無回答	3	1	0	4
計	110	20	12	142



10. 各機器の購入先はどのようなところですか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
市内家電販売店	39	1	0	40
市内ホームセンター	8	6	7	21
市外家電販売店	19	0	1	20
市外ホームセンター	1	0	1	2
インターネット	16	5	1	22
テレビショッピング	3	0	0	3
その他	24	7	1	32
無回答	0	1	1	2
計	110	20	12	142

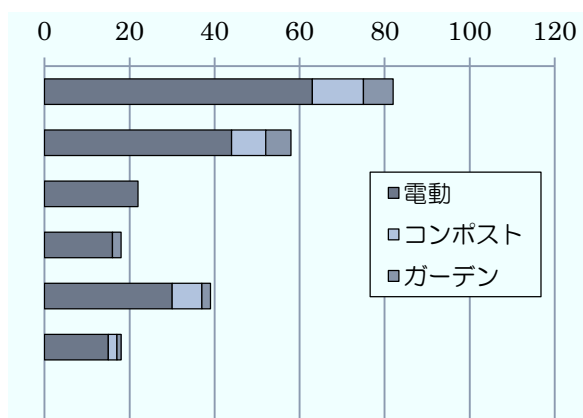


▼その他

- ・市民まつりの会場
- ・普及員(?)の方
- ・産業フェア(イベント)
- ・市内スーパーマーケット
- ・知人が認可を受けた処理機を販売していたから
- ・市内販売店
- ・市外個人販売店
- ・メーカー代理店
- ・イベントの店舗にて
- ・JA
- ・生活クラブ
- ・郵便局の通販

11. さまざまな種類がある中、購入した各機器を選んだ理由は何ですか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
性能（容量）	63	12	7	82
金額（維持費含）	44	8	6	58
デザイン	22	0	0	22
販売店の接客	16	0	2	18
使いやすさ	30	7	2	39
その他	15	2	1	18
無回答	0	0	0	0
計	190	29	18	237



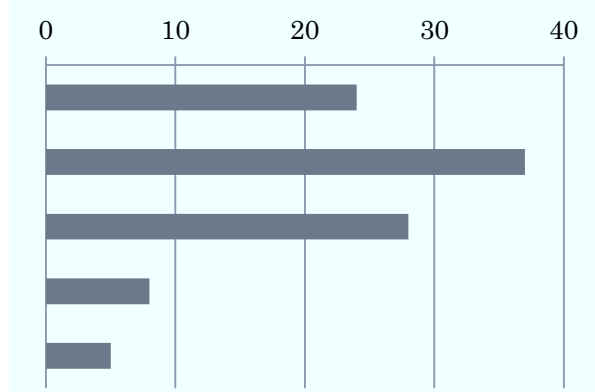
▼その他

- ・大きさ ・外に置ける ・メーカーの製品だから
- ・おなじみの電気屋さんの取り扱いメーカーだったから
- ・販売店でこの商品のみあった ・それ程種類がなかったと思う
- ・1機種のみであった ・置場所が狭いので次第に不便となった ・特になし
- ・ランニングコスト ・手入れが簡単（使い方） ・大和市の補助金の額
- ・生ごみを処理機に入れた後、悪臭をシャットアウト出来る
- ・たまたま出会ったから（購入しようとは考えていたので）
- ・バイオ式を使用していたが、リコールで現在乾燥式を使っています
- ・友人の紹介 ・10年以上前に購入した2基のうち1基が破損したため
- ・自己負担が1万円前後に減り、性能は自宅の剪定作業に応じているので選んだ

（電動生ごみ処理機利用者のみ質問）

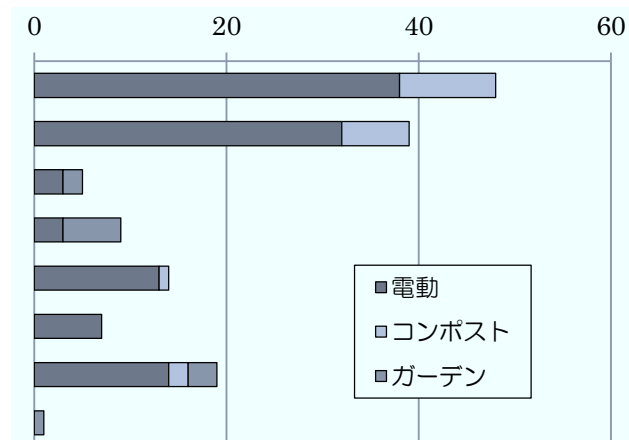
12. 電動生ごみ処理機をいつ購入されましたか

平成19年	24
平成20年	37
平成21年	28
平成22年	8
平成23年	5



1 3. 現在の、各機器の利用頻度はどのくらいですか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
1 毎日利用している	38	10	0	48
2 週に1、2回	32	7	0	39
3 月に1、2回	3	0	2	5
4 年に数回	3	0	6	9
5 使っていない	13	1	0	14
6 壊れて使えない	7	0	0	7
7 その他	14	2	3	19
無回答	0	0	1	1
計	110	20	12	142

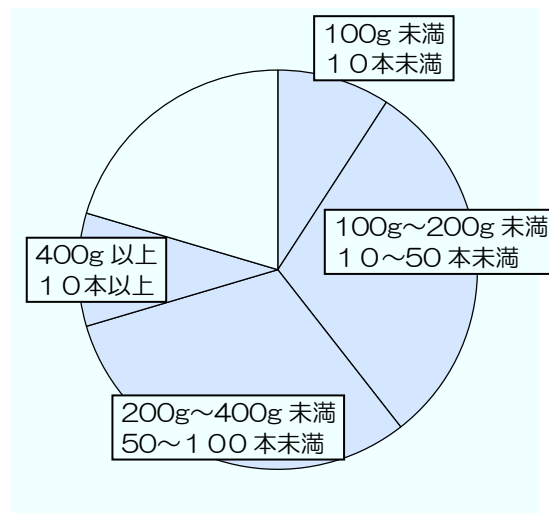


▼その他

- ・悪臭がしてほとんど使っていない
- ・夏期中に使用している
- ・週3～4回
- ・2日に1回
- ・週に4、5回
- ・度々修理して最後には動かなくなった
- ・中の土が常に湿った状態なので使用できない。何ヶ月も電気を入れた状態なのに一向にカラカラにならない。
- ・中の土がかたまってしまったことと2年前の電力制限をきっかけに
- ・月に1、2回（夏は使っていない）ある程度ためてから使用する
- ・購入した時は、室内置き用となっていたので使っていたが、臭い、音、温風がある為夏場等使えない
- ・東日本大震災の後電気代を気にして使わなくなった
- ・2012 夏までは週1回程使用していたが、今は休止中
- ・庭の木や植物を切った時に使う為、2ヶ月に1、2回（ガーデン）
- ・暇があれば、毎月少量ずつやりたい。現実には年に1、2回まとめて大作業となる（ガーデン）
- ・片寄りがありますが、春から秋で10回位（ガーデン）

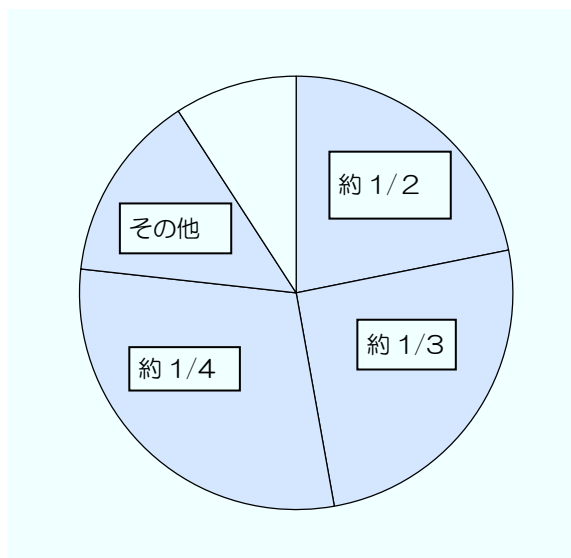
1 4. 現在は、各機器で1日にどのくらいの生ごみを処理していますか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
100g 未満 / 10 本未満	11	1	1	13
100g ~ 200g 未満 / 10 ~ 50 本未満	31	8	4	43
200g ~ 400g 未満 / 50 ~ 100 本未満	37	3	4	44
400g 以上 / 100 本以上	6	4	3	13
無回答	25	4	0	29
計	110	20	12	142



15. 各機器を使用してから生ごみの量はどのくらい減ったと思いますか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
約1/2	20	8	3	31
約1/3	28	3	5	36
約1/4	34	6	2	42
その他	17	1	2	20
無回答	11	2	0	13
計	110	20	12	142



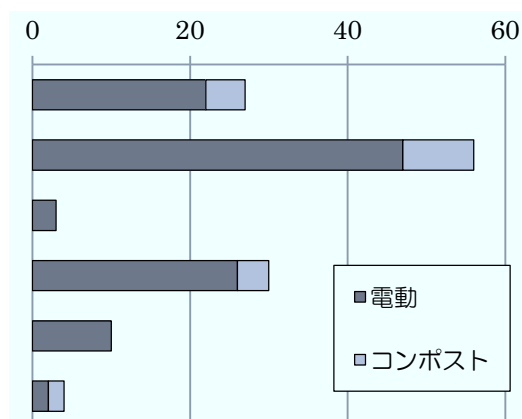
▼その他

- ・5ℓのゴミ袋で半分以下なので、激減
- ・使っていた時は1/3位
- ・80%
- ・約1/5
- ・2/3
- ・使っていたときは1/2位
- ・1/2以上
- ・ほとんど生ゴミはなし
- ・夏期中は1/4に減る
- ・不明
- ・あまり変わらない
- ・家族が増えているので量は減っていない
- ・水分の多いスイカなどの処理
- ・調子の良い時は、玉ねぎの皮、長ネギなど使用できない物以外はほとんど入れていた
- ・1/100 (ガーデン)

(電動生ごみ処理機・生ごみ処理容器(コンポスト)利用者のみ質問)

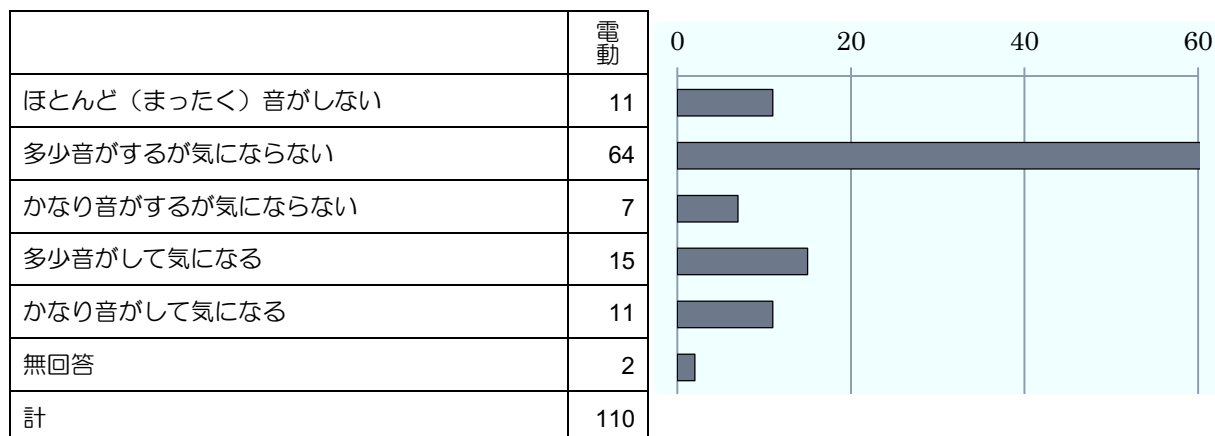
16. 各機器から出るニオイはどうか

	電動	コンポスト	計
ほとんど(まったく)ニオイがしない	22	5	27
多少ニオイがするが気にならない	47	9	56
かなりニオイがするが気にならない	3	0	3
多少ニオイがして気になる	26	4	30
かなりニオイがして気になる	10	0	10
無回答	2	2	4
計	110	20	130

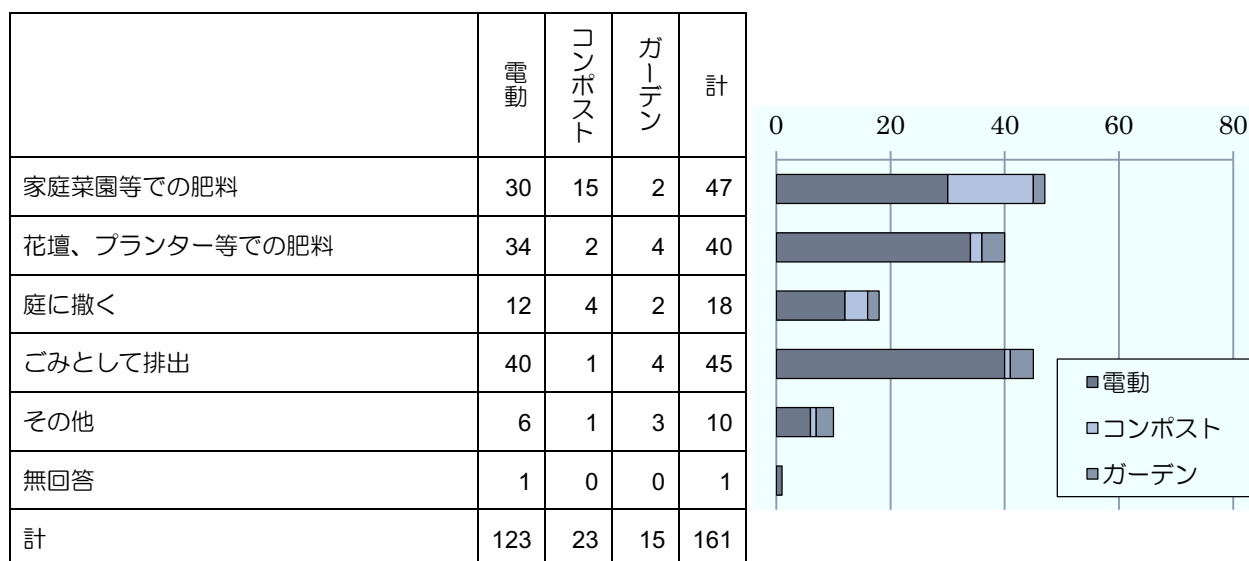


(電動生ごみ処理機利用者のみ質問)

17. 電動生ごみ処理機から出る音はどうか



18. 各機器で処理したあとの生成物はどのように処理していますか



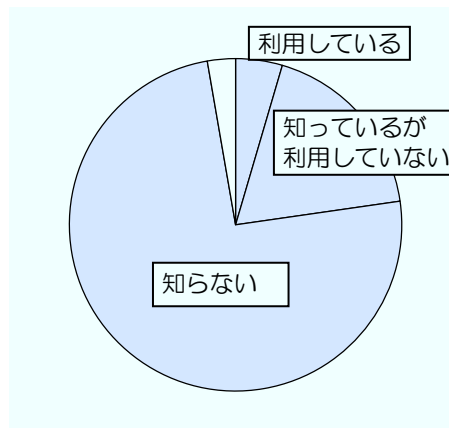
▼その他

- ・現在は使用していない ・生成物ができないタイプです
- ・リサイクルの日に出している
- ・土をかえないという理由で購入したが固まったので使えない
- ・くさくて使えない
- ・日曜の駅前の回収日に出すまたは資源センターへ持っていく
- ・そのまま(コンポスト)
- ・果樹根元に敷く等(ガーデン ・数年かけて肥料とする(ガーデン))
- ・庭(土地)が広くないので、ごみに出しているが、本当は堆肥化したいが、知識がないためできていない。(ガーデン)

(電動生ごみ処理機利用者のみ質問)

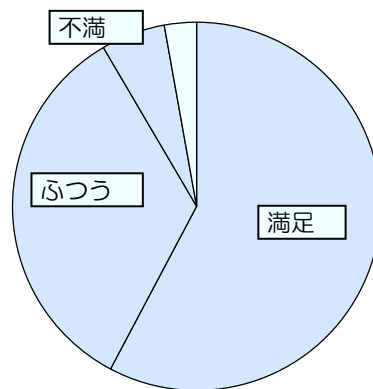
19. 生成された生ごみ堆肥を資源の拠点回収で回収していることを知っていますか

	電動
1 利用している	5
2 知っているが利用していない	20
3 知らない	82
無回答	3
計	110



20. 各機器の補助率についてどう思いましたか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
満足	61	12	9	82
ふつう	40	6	2	48
不満	6	1	1	8
無回答	3	1	0	4
計	110	20	12	142

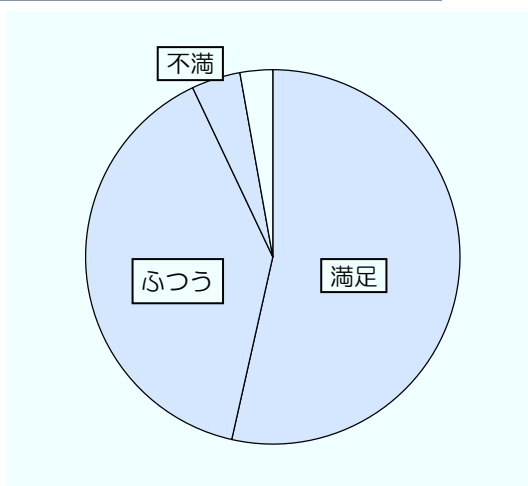


▼何%ならいいですか

- ・90%前後位
- ・100%
- ・50%
- ・90%
- ・80%

21. 各機器の補助金交付額についてどう思いましたか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
満足	60	9	7	76
ふつう	44	9	3	56
不満	3	1	2	6
無回答	3	1	0	4
計	110	20	12	142

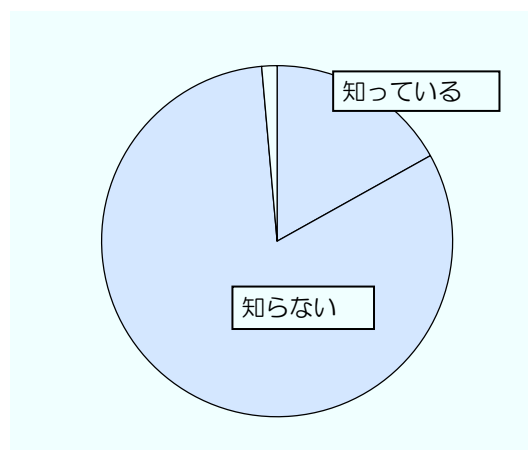


▼いくらならいいですか

- ・全額
- ・6万円位
- ・1万円 (コンポスト)
- ・購入額を3, 4段階に分けて%を決めるのが良いと思う (ガーデン)
- ・最低購入費の20% (ガーデン)
- ・満足。もっと大規模な機械ですと、3万以上を希望 (ガーデン)

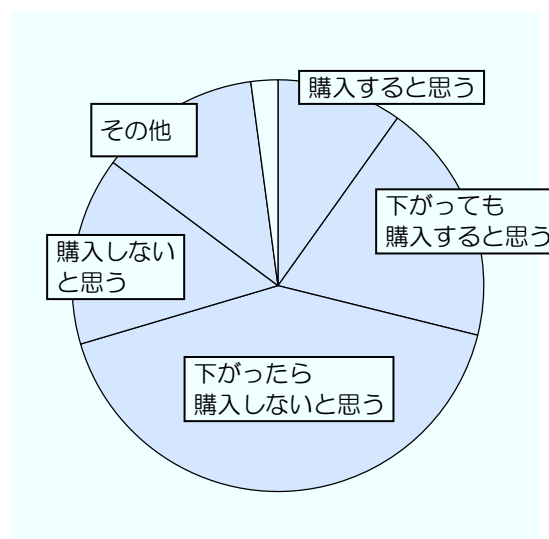
2.2. 補助制度は、対象機器を購入後5年を経過すると再度利用できません（各機器を買い替える場合に、再度補助制度が利用できます）。このことを知っていますか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
知っている	20	3	1	24
知らない	88	17	11	116
無回答	2	0	0	2
計	110	20	12	142



2.3. お手持ちの電動生ごみ処理機を購入後5年を経過した場合、もう一度各機器を購入しますか

	電動	コンポスト	ガーデン	計
購入すると思う	5	5	4	14
下がっても購入すると思う	20	2	5	27
下がったら購入しないと思う	49	8	2	59
購入しないと思う	17	4	0	21
その他	16	1	1	18
無回答	3	0	0	3
計	110	20	12	142



▼その他

- ・弊社は生ごみを水に分解する機械を導入したため、電動生ごみ処理機は使用する予定はありません
- ・その時になってみないと分からない
- ・悪臭のしないゴミ処理機があれば欲しい
- ・臭いや音などのマイナス面を改善した商品があれば検討する
- ・考えていたより不具合が多く今後は購入しない
- ・故障したら購入する
- ・ニオイが気になるので、よく考えます。補助金以前の問題です。近所迷惑になりそうで、使用をひかえています。
- ・一回の処理能力が少なく面倒なので、庭に穴を掘って入れた方が良いと思い、次回は考えている
- ・実際に稼動状況を見て購入したのではなく、映像を見て、使用方法を見ての購入だったため、実際に使用したら、臭い、音、温風で使いづかった。
- ・購入したいが、エコの処理機でも電気代が高い（夜間使用しても）ので、そこさえ改善されれば購入すると思う
- ・性能が良くなれば購入したいと思う
- ・手動なので5年以上つかえる
- ・使用不可能になった場合は

V. 自由記入欄一覧

ここでは、いただいた自由意見についてまとめました。

基本的には記入していただいた内容をそのまま記載していますが、誤字等は修正しました。また、機種名・店名等が記載されているものについては、その部分のみ修正しました。

1. 電動生ごみ処理機利用者

(1) 制度について

- 大変良い制度です。継続を希望します。
- ゴみの減量化、資源化の効果を出すには、本制度の継続が必要と思う。補助率、限度額のアップがされればなお良い。
- 有効だと思う。(使い勝手も良く肥料になるから)
- 補助金があるので購入しました。使ってとても良かったと思います。今後もずっと補助金を出してほしいです。
- 市のゴミの減量をめざすなら、もっと多くの家庭に普及しないと効果がないと思う。もっとPRすべき。
- カラス対策で購入しました。引っ越して来てすぐカラスにやられて不快な思いを何度もしていましたが、生ごみ処理機のおかげで以降不快な思いはしていません。補助金はとても助かりました。ありがとうございました。
- 生ごみの量が減り、肥料が作れるので、大変便利です。補助率も良いので、2回補助を利用している。事業を進めてほしい。
- 上限額を80,000円までは100%、それ以上超えた額の75%。出来れば人数により処理量を決めて全額。一般家庭にPRして利用してもらおう。大和市民全家庭が使用する様に。
- 親類でも使用しているのでこわれやすいと聞きましたので、その時の修理代の補助も出していただけたらなあと思いました。
- 購入して本当に良かったと思っている。今後も補助金の制度は続けてほしい。補助金の率を下げたり、廃止するのであれば生ごみ処理機で出た生成物は拠点回収ではなく各家庭ゴミと一緒に無料で回収してほしい。
- 我が家は食べ盛りの子供も3人いますので、野菜くず、果物の皮が大量に出るので生ごみ処理機がなければゴミ袋がかなりかかっていたと思います。環境にも家計にもやさしい補助をこれからもぜひつづけて下さい。
- いやな生ごみのおいがリビングにじゅうまんしなくて助かっています。以前住んでいた藤沢市より補助金が大和市の方が高くありがたいと思っています。これも購入の決め手でした。
- 生ごみだけでも減らしていきたいと思っています。知らない人もいます。藤沢市内にも同様の制度があると知り、母などは藤沢で使っています。この制度が続くと良いと思っています。
- 補助金交付について知らない人が多いと思う。ごみとして捨てるときに、回収所が遠くて不便。リサイクルゴミや可燃ゴミと同様に捨てられると非常に助かる。
- 大和市の補助金額は他の市町村と比べて高く、とても助かりました。ぜひこのまま補助金額(率)でがんばっていただきたいです。

(2) 機器について

- 補助金制度はありがたいと思いますが、音が大きいのとニオイ(現在の製品は解りませんが)が在り、使わなくなりましたが、夏場はまた使おうと思っています。初めは堆肥として使ってみ

ましたが、少し月日が過ぎるとともに戻ってしまい、虫がわいていましたので堆肥は向かないと思いました。

- 2年位使っていたが、今は使用せずこわれたために粗大ゴミに出した。再度使うとしたら自治会等で処理の方法（良さ）を説明してもらえたら良いと思う。
- 平成20年に購入したのですが、昨年2回修理していただき約3万円の修理代がかかってしまい、アンケートで5年過ぎたらもう一度利用できることを知り、新しいのに替えれば良かったと思っています。
- 補助金をいただいて感謝いたしていますが、現在使用していないので申し訳なく思っています。生ごみをいれる時電気に水気がしみて、火事が起こるのでないか心配しその内やめてしまいました。購入はきちんとしたよい製品を選ぶべき身にしました。
- 今現在は、使っていません。市は補助金交付するだけでは、だめだと思えます。処理機の中には、すぐに修理する様な機種もあります。何とか使いたかったが、度々の故障に使うのがいやになりました。サービスもあまり良くありませんでした。
- 生ごみ処理機を購入したが、後々のメンテナンスが大変だったし、販売店に相談しようとしても、その店がなかったり、後々の対応が悪すぎる。故障等を起こしても対応が悪い。このような事では、購入して困ることが多いと思う。ただ販売するだけでは、維持していくことが難しいのでは？いかがでしょうか？
- ニオイがしないと言われた物を購入したが、実際はニオイます。隣家がニオイを気にされるようなので、窓を開ける季節は使用できない。この件がなければ使い続けたかったです。
- 購入後2～3年で性能が悪くなり使用をやめたが、修理も破棄するにも費用がかかり、破棄となるとゴミになってしまうのは、ごみ減量化とは矛盾する。使用中は快適だったがそういう点では人におすすめしがたい。市がレンタルし、メンテナンスしてもらえらるなら、使用中の追加バイオ材などの多少の出費ならごみ処理機をまた使おうかという気になる。
- 私が使っているのは、水分調整が難しいので、機械の性能が良くなる様になったら使う人がふえるのでは。（水分が多いとバイオの土がころころになってしまうので）
- 購入した処理機が堆肥タイプでなく、土が固まってしまっておいもあったので、現在電気代減の為止めてある。定期的に土が安く手に入るなら、また使用したいところです。
- 梅ぼしのタネ、酒粕、玉ねぎの皮、肉の骨など処理機に投入できない物もあります。柑橘類の皮も処理できるけど時間がかかります。また臭いが気になるため、肉、魚などはゴミに出しています。機械の性能が良くなれば購入するかもしれません。
- 現在メーカー不明故障時のメンテナンスの問題。充填材の交換と費用の問題。24時間可動の為の消費電力の問題もあります。
- ハードの部分（駆動系）のメンテナンスが「不可」との事で、使用を不可となりました。ソフト面は初期から感心いたしました。
- 一年も使用しないうちにバイオ材がかたまってだんご状になって使用していません。
- 堆肥をつくる畑、山があるので一農家。電源でスイッチがオフになるまで時間がかかりすぎるのと音が気になる。（節電が気になる）

(3) 使用について

- 生ごみを捨てていた時は、ゴミが重いしゴミ袋からのニオイに悩まされました。夏場はゴミ袋の中に水がたまっていたりと不衛生さを感じていましたが、生ごみ処理機を購入してからはゴミも軽いし、何より衛生的で嫌なニオイも全くなき気持ちが良いです。今のゴミ処理機はタイマーも付いており、深夜に動かせば節電になるし効率的です。広く普及してほしいと思います。
- ベランダに置いてあるため夏場特に悪臭が家の中に入る（窓を開けている為）交換の土を安くして欲しい又は無料に

- 補助があるので購入したし、ある程度上手に使用していると思っていました。しかし、非常に手がかかります。野菜くず、果物くずなどを細かく切ってから機械に入れないと、大きなままですぐ使えず。たとえば、ミカンの皮、バナナの皮、リンゴなど、一つ一つ細かくカットしないと綺麗な堆肥になりません。メーカーの工夫（フードプロセッサー付にすればOK）が必要です。もっと使いやすい機械なら多くの方が利用するでしょう。買って途中で利用しないのは、その辺に理由があると思います。ゴミの減量は、すごいものです。多分市役所の方は、使っていないでしょう。もし、減量を考えるのであれば、是非共使いやすい処理機を
- 以前購入した物は室内用だったにもかかわらず、臭いが部屋中に広がり、音もうるさく、庭に出したが、それでも臭いが近隣にまで流れるような物だった為、使用を取り止めた。又、庭の堆肥にするのも難しく、グリーンアップセンターにもアドバイスを求めたりしたが、挫折してしまっ。購入の補助金を出す前に、購入後の知識や製品の説明をしてからではないと税金の無駄使いになってしまう気がする。
- 処理できるものを分けるのが、めんどろである。時間もかかり、留守の時に使わないとにおいがつくため使うことが少なくなってしまった。家庭よりもお店等で使った方が効率は良いのではと思う。
- 2011年11月10日に不注意で生ゴミを入れすぎて動かなくなり修理に出しました。ギアモーター交換（9,800円）していただき、今はスムーズに動いています。ゴミの量も少なくしています。

(4) その他

- 電気代を気にせず利用したいので、震災の後は使っているのかなとゴミの為に電気を使うのと資源を減量するのとどっちかと迷ってしまいました。もう一つ肥料にするのがむずかしかったこともある。
- 生ごみ処理機の担当の方がすばらしい対応で満足しています。
- 処理機を使用すれば確実に生ごみの減量がはかれます。ただこの際に使用する電力と処理を行わず回収して処理してもらった場合の費用の差や環境への影響等どちらがいいのか分かりません。処理機で処理する事で「こんなにいい事ありますよ」というのをもっと知りたい。
- 市のごみ処理に対する努力に敬意を表します。
- ゴミの量の削減と節電とどちらを優先すべきか、今悩んでおります。
- 3.11以来ごみの減量化を考えるとともに、電動生ごみ処理機の電気の使用料を考えてしまいます。

2. 生ごみ処理容器（コンポスト）利用者

(1) 制度について

- コンポストは安価なので補助金の額は小さくて良いです。下限があった記憶がありますが、そのために必要以上に大きな物を購入したと思います。
- 他都市と比較すると補助率は高く、良い制度だと思う。ただ、それが市民に上手く伝わっていないのでは。隣の横浜市のように市政としてゴミ削減を声高にPRしないと、あまり知られない制度のままだと思う。

(2) 使用について

- 生ごみを処理する際のニオイが近隣の人に迷惑になること。

(3) その他

- 生ごみが無くなった可燃ゴミの中にもまだまだ裁断紙ゴミがたくさんあるはず、資源ゴミにな

り難い家庭の雑紙類（新聞でなく、雑誌でなく、PCの失敗紙など）をゴミでなく活用できる方法を確立して欲しい。

①もっともっとゴミ減へ市として市民への協力を求めるべきと思う。

②よりしっかりしたゴミ、資源の再利用と研究取り入れて欲しい早急に。

- 焼却ゴミ処理機も使用していますが、役立っています。
- 購入先がよく分からないと1店だけだと種類（大きさ等）が限られていて、自分の庭に適したものが見つからない思いがあるので、少なくとも2店の取り扱うパンフレットが欲しいと思いました。
- ゴミ袋を使用せず自分で処理ができる事は生活全般に考えるキッカケになると思います。

3. ガーデンシュレッダー利用者

(1) 制度について

- ①制度としては「良い」と思います。②PRの再考も必要と思います。
- 我家では有効にガーデンシュレッダーを利用しています。50cmの長さに枝を切る事は、結構大変なので3cm中位までの太さは、シュレッダーにかけています。ただ、意外と知らない人がいて、使用していると驚かれます。補助があれば自己負担が少ないので、かなり便利だと思います。PRをもう少し増やしても良いと思います。
- 私の場合、年に1、2回の使用です。5年ですと、7、8回となり、1回当りの作業が家族2名で1日以上かかっていたものが、シュレッダーのおかげで2時間に短縮。人件費換算で1万円相当削減、5年では7、8万円相当の削減と考えられます。シュレッダーは、売値3万円位でしたが、補助金制度というきっかけがなければ、購入しなかったです。補助金制度のおかげでガーデンシュレッダーというものを知り、更に資源利用にも関心が高まりました。

(2) 機器について

- 現在のシュレッダーが思った形状になかなかならない、使い易いチップになる様なシュレッダーになると高価になるので今の所購入出来ないと思う。

(3) その他

- 調整区域での野菜等についても公害問題として取り上げられている事から極力チップにしたい。

生ごみ処理容器設置費補助金交付事業についてのアンケート

該当する番号に○をつけてください

問1. 生ごみ処理容器等設置費補助金交付制度（以下「補助制度」と言います）を、どのような方法で知りましたか（複数回答可）

1. 広報やまと 2. 市ホームページ 3. 自治会回覧 4. 公共施設設置チラシ 5. ロコミ
6. ごみ関係の説明会 7. 販売店等の宣伝 8. 資源とごみのパンフレット（市配布）
9. その他（ ）

問2. 補助制度のPR（周知）は十分なされていると思いますか

1. 十分されている 2. ふつう 3. 足りない 4. 大いに足りない

問3. 補助制度のPR（周知）について、有効だと思う方法を選んでください（複数回答可）

1. 広報やまと 2. 市ホームページ 3. 自治会回覧 4. 公共施設設置チラシ
5. やまとPSメール 6. イベント等でのチラシ配布 7. 販売店へのチラシ設置
8. 資源とごみのパンフレット（市配布）
9. その他（ ）

問4. 生ごみ処理容器（コンポスト）を購入しようと思ったきっかけは、どのような理由からですか（複数回答可）

1. ごみを減量化したい 2. 環境問題に関心がある 3. カラス・猫対策のため
4. 成果物（堆肥）を利用したい 5. 補助金制度があるため
6. その他（ ）

問5. 補助制度が無くても生ごみ処理容器（コンポスト）を購入していたと思いますか

1. 購入していたと思う 2. 購入していないと思う 3. わからない

問6. 生ごみ処理容器（コンポスト）はごみの減量化、資源化に対して有効だと思いますか

1. 有効である 2. 多少有効である 3. わからない 4. あまり有効ではない 5. 有効ではない

↓
↓
ごみの減量化、資源化の普及・啓発に、
補助制度は役立つと思いますか

1. 役立つと思う 2. 多少役立つと思う

3. あまり役立たないと思う 4. 役立たないと思う 5. わからない

↓
↓
有効でないと思う理由を教えてください

[]

問7. 補助制度を知って、ごみの減量化、資源化の関心は高まりましたか

1. 非常に高まった 2. 高まった 3. 変わらない 4. 低くなった 5. かなり低くなった

問8. 補助制度の申請方法や必要書類についてどう思いましたか

1. わかりやすかった 2. ふつう
3. わかりにくかった（わかりにくい点： ）

問9. 申請から補助金交付までの期間についてどう思いましたか

1. 早かった 2. 少し早かった 3. ふつう 4. 少し長かった 5. 長かった

問10. 生ごみ処理容器（コンポスト）の購入先はどのようなところですか

1. 市内家電販売店 2. 市内ホームセンター 3. 市外家電販売店 4. 市外ホームセンター
5. インターネット 6. テレビショッピング 7. その他（ ）

【裏面に続きます】

問11. さまざまな種類がある中、購入した生ごみ処理容器（コンポスト）を選んだ理由は何ですか
（複数回答可）

1. 性能（容量）
2. 金額（維持費含）
3. デザイン
4. 販売店の接客
5. 使いやすさ
6. その他（ ）

問12. 現在の、生ごみ処理容器（コンポスト）の利用頻度はどのくらいですか

1. 毎日利用している
2. 週に1、2回
3. 月に1、2回
4. 年に数回
5. 使っていない
6. 壊れて使えない
7. その他（ ）

問13. 現在は、生ごみ処理容器（コンポスト）で1日にどのくらいの生ごみを処理していますか

1. 100g未満
2. 100g～200g未満
3. 200g～400g未満
4. 400g以上

問14. 生ごみ処理容器（コンポスト）を使用してから生ごみの量はどのくらい減ったと思いますか

1. 約1/2
2. 約1/3
3. 約1/4
4. その他（ ）

問15. 生ごみ処理容器（コンポスト）から出るニオイはどうですか

1. ほとんど（まったく）ニオイがしない
2. 多少ニオイがするが気にならない
3. かなりニオイがするが気にならない
4. 多少ニオイがして気になる
5. かなりニオイがして気になる

問16. できあがった生ごみ堆肥はどのように活用していますか

1. 家庭菜園等での肥料
2. 花壇、プランター等での肥料
3. 庭に撒く
4. ごみとして排出
5. その他（ ）

問17. 生ごみ処理容器（コンポスト）の補助率（90%）についてどう思いましたか

1. 満足
2. ふつう
3. 不満（何%ならいいですか？ ）

問18. 生ごみ処理容器（コンポスト）の補助金交付額（上限5000円）についてどう思いましたか

1. 満足
2. ふつう
3. 不満（いくらならいいですか？ ）

問19. 補助制度は、対象機器を購入後5年を経過すると再度利用できません（生ごみ処理容器（コンポスト）を買い替える場合に、再度補助制度が利用できます）。このことを知っていますか

1. 知っている
2. 知らない

問20. お手持ちの生ごみ処理容器（コンポスト）の購入後5年が経過した場合、もう一度生ごみ処理容器（コンポスト）を購入しますか

1. 補助制度のあるなしにかかわらず購入すると思う
2. 補助金額(率)が下がっても、補助金が出るのなら購入すると思う
3. 現在の補助金額(率)なら購入すると思うが、補助金額(率)が下がったら購入しないと思う
4. 補助制度のあるなしにかかわらず購入しないと思う
5. その他（ ）

自由記入欄

生ごみ処理容器（コンポスト）の補助金交付や事業全体について、ご意見やご感想などあればご記入ください。

生ごみ処理容器設置費補助金交付事業についてのアンケート

該当する番号に○をつけてください

問1. 生ごみ処理容器等設置費補助金交付制度（以下「補助制度」と言います）を、どのような方法で知りましたか（複数回答可）

1. 広報やまと 2. 市ホームページ 3. 自治会回覧 4. 公共施設設置チラシ 5. ロコミ
6. ごみ関係の説明会 7. 販売店等の宣伝 8. 資源とごみのパンフレット（市配布）
9. その他（ ）

問2. 補助制度のPR（周知）は十分なされていると思いますか

1. 十分されている 2. ふつう 3. 足りない 4. 大いに足りない

問3. 補助制度のPR（周知）について、有効だと思う方法を選んでください（複数回答可）

1. 広報やまと 2. 市ホームページ 3. 自治会回覧 4. 公共施設設置チラシ
5. やまとPSメール 6. イベント等でのチラシ配布 7. 販売店へのチラシ設置
8. 資源とごみのパンフレット（市配布）
9. その他（ ）

問4. 電動生ごみ処理機を購入したきっかけは、どのような理由からですか（複数回答可）

1. ごみを減量化したい 2. 環境問題に関心がある 3. カラス・猫対策のため
4. 成果物（堆肥）を利用したい 5. 補助金制度があるため
6. その他（ ）

問5. 補助制度が無くても電動生ごみ処理機を購入しましたか

1. 購入していた 2. 購入していない 3. わからない

問6. 電動生ごみ処理機はごみの減量化、資源化に対して有効だと思いますか

1. 有効である 2. 多少有効である 3. わからない 4. あまり有効ではない 5. 有効ではない

↓
ごみの減量化、資源化の普及・啓発に、
補助制度は役立つと思いますか

↓
有効でないと思う理由を教えてください

1. 役立つと思う 2. 多少役立つと思う
3. あまり役立たないと思う 4. 役立たないと思う 5. わからない

問7. 補助制度を知って、ごみの減量化、資源化の関心は高まりましたか

1. 非常に高まった 2. 高まった 3. 変わらない 4. 低くなった 5. かなり低くなった

問8. 補助制度の申請方法や必要書類についてどう思いましたか

1. わかりやすかった 2. ふつう
3. わかりにくかった（わかりにくい点： ）

問9. 申請から補助金交付までの期間についてどう思いましたか

1. 早かった 2. 少し早かった 3. ふつう 4. 少し長かった 5. 長かった

問10. 電動生ごみ処理機を購入先はどのようなところですか

1. 市内家電販売店 2. 市内ホームセンター 3. 市外家電販売店 4. 市外ホームセンター
5. インターネット 6. テレビショッピング 7. その他（ ）

問11. さまざまな種類がある中、購入した電動生ごみ処理機を選んだ理由は何ですか（複数回答可）

1. 性能（容量） 2. 金額（維持費含） 3. デザイン 4. 販売店の接客 5. 使いやすさ
6. その他（ ）

問12. 電動生ごみ処理機をいつ購入されましたか

1. 平成19年 2. 平成20年 3. 平成21年 4. 平成22年 5. 平成23年

【裏面に続きます】

問13. 現在の、電動生ごみ処理機の利用頻度はどのくらいですか

1. 毎日利用している
2. 週に1、2回
3. 月に1、2回
4. 年に数回
5. 使っていない
6. 壊れて使えない
7. その他 ()

問14. 現在は、電動生ごみ処理機で1日にどのくらいの生ごみを処理していますか

1. 100g未満
2. 100g～200g未満
3. 200g～400g未満
4. 400g以上

問15. 電動生ごみ処理機を使用してから生ごみの量はどのくらい減りましたか

1. 約1/2
2. 約1/3
3. 約1/4
4. その他 ()

問16. 電動生ごみ処理機から出るニオイはどうか

1. ほとんど(まったく)ニオイがしない
2. 多少ニオイがするが気にならない
3. かなりニオイがするが気にならない
4. 多少ニオイがして気になる
5. かなりニオイがして気になる

問17. 電動生ごみ処理機から出る音はどうか

1. ほとんど(まったく)音がしない
2. 多少音がするが気にならない
3. かなり音がするが気にならない
4. 多少音がして気になる
5. かなり音がして気になる

問18. 電動生ごみ処理機で処理したあとの生成物(堆肥・乾燥物)はどのように処理していますか

1. 家庭菜園等での肥料
2. 花壇、プランター等での肥料
3. 庭に撒く
4. ごみとして排出
5. その他 ()

問19. 生成された生ごみ堆肥を資源の拠点回収で回収していることを知っていますか

1. 利用している
2. 知っているが利用していない
3. 知らない

問20. 電動生ごみ処理機の補助率(75%)についてどう思いましたか

1. 満足
2. ふつう
3. 不満(何%ならいいですか?) (%)

問21. 電動生ごみ処理機の補助金交付額(上限50,000円)についてどう思いましたか

1. 満足
2. ふつう
3. 不満(いくらならいいですか?) (円)

問22. 補助制度は、対象機器を購入後5年を経過すると再度利用できます(電動生ごみ処理機を買い替える場合に、再度補助制度が利用できます)。このことを知っていますか

1. 知っている
2. 知らない

問23. お手持ちの電動生ごみ処理機を購入後5年が経過した場合、もう一度電動生ごみ処理機を購入しますか

1. 補助制度のあるなしにかかわらず購入すると思う
2. 補助金額(率)が下がっても、補助金が出るのなら購入すると思う
3. 現在の補助金額(率)なら購入すると思うが、補助金額(率)が下がったら購入しないと思う
4. 補助制度のあるなしにかかわらず購入しないと思う
5. その他 ()

自由記入欄

電動生ごみ処理機の補助金交付や事業全体について、ご意見や感想などがあればご記入ください

お忙しいところ ご協力ありがとうございました

生ごみ処理容器設置費補助金交付事業についてのアンケート

該当する番号に○をつけてください

問1. 生ごみ処理容器等設置費補助金交付制度（以下「補助制度」と言います）を、どのような方法で知りましたか（複数回答可）

1. 広報やまと 2. 市ホームページ 3. 自治会回覧 4. 公共施設設置チラシ 5. ロコミ
6. ごみ関係の説明会 7. 販売店等の宣伝 8. 資源とごみのパンフレット（市配布）
9. その他（ ）

問2. 補助制度のPR（周知）は十分なされていると思いますか

1. 十分されている 2. ふつう 3. 足りない 4. 大いに足りない

問3. 補助制度のPR（周知）について、有効だと思う方法を選んでください（複数回答可）

1. 広報やまと 2. 市ホームページ 3. 自治会回覧 4. 公共施設設置チラシ
5. やまとPSメール 6. イベント等でのチラシ配布 7. 販売店へのチラシ設置
8. 資源とごみのパンフレット（市配布）
9. その他（ ）

問4. ガーデンシュレッダーを購入しようと思ったきっかけはどのような理由からですか（複数回答可）

1. ごみを減量化したい 2. 環境問題に関心がある 3. 成果物（チップ等）を利用したい
4. 補助金制度があるため 5. その他（ ）

問5. 補助制度が無くてもガーデンシュレッダーを購入していたと思いますか

1. 購入していたと思う 2. 購入していないと思う 3. わからない

問6. ガーデンシュレッダーはごみの減量化、資源化に対して有効だと思いますか

1. 有効である 2. 多少有効である 3. わからない 4. あまり有効ではない 5. 有効ではない

↓ ↓ ↓ ↓ ↓
ごみの減量化、資源化の普及・啓発に、 有効でないと思う理由を教えてください
補助制度は役立つと思いますか

1. 役立つと思う 2. 多少役立つと思う
3. あまり役立たないと思う 4. 役立たないと思う 5. わからない

問7. 補助制度を知って、ごみの減量化、資源化の関心は高まりましたか

1. 非常に高まった 2. 高まった 3. 変わらない 4. 低くなった 5. かなり低くなった

問8. 補助制度の申請方法や必要書類についてどう思いましたか

1. わかりやすかった 2. ふつう
3. わかりにくかった（わかりにくい点： ）

問9. 申請から補助金交付までの期間についてどう思いましたか

1. 早かった 2. 少し早かった 3. ふつう 4. 少し長かった 5. 長かった

問10. ガーデンシュレッダーの購入先はどのようなところですか

1. 市内家電販売店 2. 市内ホームセンター 3. 市外家電販売店 4. 市外ホームセンター
5. インターネット 6. テレビショッピング 7. その他（ ）

【裏面に続きます】

問 1 1. さまざまな種類がある中、購入したガーデンシュレッダーを選んだ理由は何ですか
(複数回答可)

1. 性能 (容量)
2. 金額 (維持費含)
3. デザイン
4. 販売店の接客
5. 使いやすさ
6. その他 ()

問 1 2. 現在の、ガーデンシュレッダーの利用頻度はどのくらいですか

1. 毎日利用している
2. 週に1、2回
3. 月に1、2回
4. 年に数回
5. 使っていない
6. 壊れて使えない
7. その他 ()

問 1 3. 現在は、ガーデンシュレッダーで1回にどのくらいの剪定枝を処理していますか

1. 10本未満
2. 10~50本未満
3. 50~100本未満
4. 100本以上

問 1 4. ガーデンシュレッダーを使用してから剪定枝の量はどのくらい減ったと思いますか

1. 約1/2
2. 約1/3
3. 約1/4
4. その他 ()

問 1 5. ガーデンシュレッダーで粉碎した処理品はどのように処理していますか

1. 家庭菜園等での肥料
2. 花壇、プランター等での肥料
3. 庭に撒く
4. ごみとして排出
5. その他 ()

問 1 6. ガーデンシュレッダーの補助率 (75%) についてどう思いましたか

1. 満足
2. ふつう
3. 不満 (何%ならいいですか?)

問 1 7. ガーデンシュレッダーの補助金交付額 (上限30,000円) についてどう思いましたか

1. 満足
2. ふつう
3. 不満 (いくらならいいですか?)

問 1 8. 補助制度は、対象機器を購入後5年を経過すると再度利用できません (ガーデンシュレッダーを買い替える場合に、再度補助制度が利用できます)。このことを知っていますか

1. 知っている
2. 知らない

問 1 9. お手持ちのガーデンシュレッダーの購入後5年が経過した場合、もう一度ガーデンシュレッダーを購入しますか

1. 補助制度のあるなしにかかわらず購入すると思う
2. 補助金額(率)が下がっても、補助金が出るのなら購入すると思う
3. 現在の補助金額(率)なら購入すると思うが、補助金額(率)が下がったら購入しないと思う
4. 補助制度のあるなしにかかわらず購入しないと思う
5. その他 ()

自由記入欄

ガーデンシュレッダーの補助金交付や事業全体について、ご意見や感想などがあればご記入ください。

平成24年度版
生ごみ処理容器等設置費補助金制度
利用状況等アンケート結果報告書

発行 大和市
平成25年3月
編集 大和市環境管理センター 収集業務課
〒242-0026 大和市草柳3-12-1
電話 046-269-7343